

中興藩に沖中向く多結投総督府ヨリ弊藩
沖征討に 作出るに唱導り及驚愕を令く
乙童藩に仍言其巧弊藩に悪サニ品々立
奥料に撥授り曠進に相聞へ一藩疑惑は
得る果日 勅從に依りて先以法を審
く事々 倣に沙化明く如何振たす 倣に
出然虚言にそとて忠心得るに才進く
近國に諸藩出云くすくきく何等事件
に中停難を辨く事々申不得事々四境に藩
に人数を至るに去月十四日領分清川に

ヨリ竊に襲込及發炮を始末 王者討罪く
師を心得る中一藩に其益益惑するに一回
憤勵致防戦に防禦自救く心得る大綱並
に人数を出るに乙童を品々其數を業上
及發炮を止不得止及接戦を倣に結投總督
府に指揮するに信官軍に有るに忠懼く
事々に得るに告報を義に令りて忠討におかし
るに武に智に乙童防戦に事々に忠に就て審
月七日に常に事々に通大河内を京亮振に忠
に趣き以事々に忠に事々に忠に忠に忠に